

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公開番号】特開2014-45850(P2014-45850A)  
 【公開日】平成26年3月17日(2014.3.17)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-014  
 【出願番号】特願2012-189727(P2012-189727)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月10日(2015.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

第1図柄始動手段が遊技球を検出することを条件に行われる抽選の結果に基づいて第1図柄を変動表示する第1図柄表示手段と、

第2図柄始動手段が遊技球を検出することを条件に行われる抽選の結果に基づいて第2図柄を変動表示する第2図柄表示手段と、

前記第1図柄表示手段の変動後の停止図柄が第1特定態様となることに基づいて第1特定利益状態を発生させる第1特定利益状態発生手段と、

前記第2図柄表示手段の変動後の停止図柄が第2特定態様となることに基づいて第2特定利益状態を発生させる第2特定利益状態発生手段と、

前記第1特定利益状態と前記第2特定利益状態との終了後にそれぞれ複数種類の特別遊技状態の何れかを発生させる特別遊技状態発生手段と、

前記複数種類の特別遊技状態に応じて複数種類の演出モードの何れかを発生させる演出モード発生手段とを備え、

前記第1図柄表示手段と前記第2図柄表示手段とは互いに並行して変動表示可能であり

、  
 前記特別遊技状態は、その開始後における前記第1図柄と前記第2図柄との変動回数の合計値が所定の上限回数となることに基づいて終了する第1特別遊技状態を含むように構成された

弾球遊技機において、

変動後の停止図柄が前記第1特定態様となる前記第1図柄変動と、変動後の停止図柄が前記第2特定態様となる前記第2図柄変動とのそれぞれの開始時の遊技状態に応じて、その後発生する前記特別遊技状態及び前記演出モードを決定するように構成した

ことを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、第1図柄始動手段17aが遊技球を検出することを条件に行われる抽選の結

果に基づいて第1図柄を変動表示する第1図柄表示手段23aと、第2図柄始動手段17bが遊技球を検出することを条件に行われる抽選の結果に基づいて第2図柄を変動表示する第2図柄表示手段23bと、前記第1図柄表示手段23aの変動後の停止図柄が第1特定態様となることに基づいて第1特定利益状態を発生させる第1特定利益状態発生手段56と、前記第2図柄表示手段23bの変動後の停止図柄が第2特定態様となることに基づいて第2特定利益状態を発生させる第2特定利益状態発生手段56と、前記第1特定利益状態と前記第2特定利益状態との終了後にそれぞれ複数種類の特別遊技状態の何れかを発生させる特別遊技状態発生手段57と、前記複数種類の特別遊技状態に応じて複数種類の演出モードの何れかを発生させる演出モード発生手段とを備え、前記第1図柄表示手段23aと前記第2図柄表示手段23bとは互いに並行して変動表示可能であり、前記特別遊技状態は、その開始後における前記第1図柄と前記第2図柄との変動回数の合計値が所定の上限回数となることに基づいて終了する第1特別遊技状態を含むように構成された弾球遊技機において、変動後の停止図柄が前記第1特定態様となる前記第1図柄変動と、変動後の停止図柄が前記第2特定態様となる前記第2図柄変動とのそれぞれの開始時の遊技状態に応じて、その後が発生する前記特別遊技状態及び前記演出モードを決定するように構成したものである。